

執筆者一覽（本誌掲載順）

松井哲朗（まつい・てつろう）

演劇愛好者

演劇随想個人誌・季刊『続・観劇片々』
発行。年金生活者。深川市在住。

齋藤 歩（さいとう・あゆむ）

劇作家・演出家・俳優

公益財団法人北海道演劇財団常務理事・芸術監督

一九六四年、釧路市生まれ。

北大演劇研究会を経て、1987年に札幌口マンチカシアター鮎鱈（ほうぼろ）舎設立。一九九六年、北海道演劇財団設立に伴い、TPS契約アーティストに就任。二〇〇〇年より（株）ノックアウト所属俳優として、東京での俳優・演出家の仕事を開始する一方、札幌でも二〇〇一年からTPSチーフディレクター。二〇一六年四月より、札幌に移住し、北海道演劇財団の常務理事・芸術監督に就任。
札幌を拠点にした演劇創造、東京を拠点にした映画、テレビ、舞台出演など活動は多岐にわたる。

高橋 秀典（たかはし・ひでのり）

一九七四年生まれ。公益財団法人札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 劇場事業課長。

当財団で二〇〇〇年～二〇〇四年、二〇〇六年に札幌コンサートホール

Kitaraの事業課で主催事業の企画を担当。

二〇〇五年、一般財団法人地域創造に派遣となり、芸術環境部副参事兼ディレクターとして、主に音楽活性化事業や市町村長・公共ホール職員向けの研修事業等を担当。音楽活性化事業では、年間約一〇〇日間出張し全国の市町村でアウトリーチ事業に従事した。

二〇〇七年、札幌芸術の森事業課に配属され一一年間勤務。主に、二〇〇七年からスタートしたサツポロ・シテイ・ジャズのチーフディレクターとして、現場責任者を務めた他、アーティストブックイング、ファンドレイジング等を担当。二〇一五年～二〇一七年は、サツポロ・シテイ・ジャズパークジャズライブコンテントの審査員を務めた。この他、札幌ジュニアジャズスクールの等々ジャズ事業全般やオフロードウェイミュージカル「I Love a Piano」等の海外招聘事業、「SAPPORO ART MIX」等の様々なパフォーミングアーツ事業のプロデュースを担当した。

齋藤 ちず

NPO法人コンカリーニョ 理事長。
学生時代に演劇活動を始め、二〇〇三年、NPO法人コンカリーニョ立上げより現職。

二〇〇六年、生活支援型文化施設コンカリーニョを再オープンと同時に札幌

劇場連絡会に参画。札幌劇場連絡会では、長らく事務局長を務め、二〇一八年に会長就任。
平成一九年度内閣府男女平等参画地域のチャレンジ賞受賞。

飯塚 優子（いづか・ゆうこ）

レッドベリースタジオ主宰、アートコーディネーター、スクリプター、コピーライターを経て、4丁目プラザ企画宣伝部入社。4プラホール、駅裏八号倉庫を通じてアートのスペースの運営や地域演劇のマネジメントに携わり、二〇〇〇年から私設空間を運営し、ジャンルを問わず魅力ある表現者との交流を拡げるとともに、札幌の舞台芸術振興や基盤構築に関する提言活動に関わっている。二〇一三年度から札幌演劇シーズンの事務局長。
北翔大学、北海道教育大学、札幌学院大学で非常勤講師。

安念 優子（あねん・ゆうこ）

一九五二年留辺蕊町で生まれる。江別高校で演劇と出会う。一九八一年夫と小劇場ドラマシアターどもを開くと共に、劇団ドラマシアターどもを旗揚げする。ライブワークショップをテーマにした二人芝居?「パパ漫才」の出演公演。（3・11以後、フクシマ放射能学習編なども）普段は喫茶ドラマシアターどもの店主（江別市二条二丁目七・一。ドラマシアターども）

舞台芸術研究プロジェクト研究員

森一生（もり・かずなり）

北翔大学客員教授

札幌静修高等学校演劇部顧問就任（昭和四二年）以来、長年にわたり高校演劇指導に尽力し、同校を二度の全国優勝にまで導いた。全国アマチュア演劇協議会の創作脚本賞を受賞するなど、高校演劇の中心的存在として活躍してきた。札幌市文化奨励賞・北海道文化奨励賞・札幌市芸術賞受賞。

村松幹男（むらまつ・みきお）

北海道教育文化学部教授

北海道北見市生まれ。高校時代より演劇をはじめ、北大のサークル「劇団アトリエ」を経て、大学在学中の一九八三年に「デパートメントシアター・アレフ」の旗揚げに参加。全17作品に役者として参加。アレフ終了後（九〇年）、九二年に「Theater・ラグ・203」旗揚げ。代表。劇作、演出、役者。

田光子（チヨン・クワンジャヤ）

北翔大学短期大学部准教授

札幌市生まれ。在日韓国人。幼少時代にバレエ、日本舞踊、韓国舞踊を習う。大学では英文学を専攻し、シエイクスピア劇に関心を持つ。韓国・ソウル梨花女子大学大学院では韓国舞踊を実践・

理論面において学び、重要無形文化財である金千興・李梅芳および梨花女子大学元教授の金梅子に師事。現在は北翔舞台芸術で舞踊芸術、身体表現などを担当している。

平井 伸之（ひらい・のぶゆき）

北翔大学短期大学部講師

埼玉県生まれ。北大のサークル「劇団アトリエ」を経て「劇団デパートメントシアター・アレフ」に参加。九二年「Theater・ラグ・203」の旗揚げより参加。役者・演出。

森井綾（もりい・りょう）

北翔大学教育文化学部准教授

一九八八年北海道教育大学札幌分校卒業。以降フリーでデザイン業・デザインコンテンツを中心にディレクターを営む。九五年㈱アドビデオ北海道入社。二〇〇〇年四月㈱アドビデオ北海道退職。〇六年から、本学専任講師。〇九年から現職。

大林のり子（おおばやし・のりこ）

明治大学文学部准教授

神戸市生まれ。大阪大学大学院で演劇学専攻。二〇〇四年より七年間北翔舞台芸術の専任教員を務める。二〇一一年より現職。主に二〇世紀前半の上演および舞台美術の歴史研究。ドイツ語圏に出自を持つ演劇人の共同制作に根

ざした舞台制作の状況、その国際的な活動について調査を進めている。

金田一仁志（きんだいち・ひとし）

日本俳優連合（西田敏行理事長）所属。

日本演劇教育連盟全国委員。一九九五年、ロシア国内三劇場で、初の海外公演を成功させている。北海道教育大学、藤女子大学非常勤講師。九〇年札幌市民芸術祭奨励賞、九八年市民文化賞受賞。二〇〇〇年東京都フェスティバル（戯曲部門）全国ベストエイト入選。〇九年、日本演劇教育賞ノミネート。北海道新聞夕刊のコラム「舞台裏から」執筆は六年を記録。さつぽろ市民ミュージカル代表。

野田頭希（の다가しら・のぞみ）

役者・会社員（日本板硝子北海道株式会社）

苫小牧市で生まれ。

北翔大学生涯学習システム学部芸術メディア学科舞台芸術コース卒業。劇団B1 Stage所属。